

9月1日からのごみ収集方法

全市一斉に紙袋に切替えします



(ポリバケツから紙袋へ)

<紙袋の特長と利点>

(1)特長

紙袋の特長としては、特殊加工されているので、多少湿気のあるものを入れても大丈夫なこと、袋には大のいやがる薬品をぬってあることです。

(2)利点

<ご家庭では>

- △ごみ袋を集荷地におくだけで万事OKです。
- △家庭に容器をもち帰る必要がない(時間の節約)
- △洗う必要もない(洗剤代が節約になる)
- △共稼ぎや留守のときも安心できる。

<衛生面、収集面では>

- △能率が向上する。
- △敏速に積荷できるため交通上の支障が緩和される。
- △ホコリがたないため健康上よい。
- △ごみ袋を収集車につみ上げるだけでよい。
- △汚れた容器を取り扱う必要がないため被服がよれない。

<街の美観上から>

- △ごみがこぼれない。
- △よごれたからの容器が路上に放置されないため、街の美観をそこねない。

「きれいで住みよい街づくり」をめざす市役所では、ごみ収集方法の改善を検討してきたところ、今まで使用してきたポリバケツの収集方法から紙袋の収集方法へ切り替えることが、衛生的にも、また、街の美観を考えた上でも多くの利点があることがわかったため、9月1日から全市域の収集を紙袋に切り替えることになりました。この紙袋への切り替えにあたっては、さる6月1日から部垂町と城西町をモデル地区に指定し、3カ月にわた

って紙袋収集を実施してきたところです。

そして、モデル地区のご家庭の方々から紙袋収集に対するアンケートをとったところ、63%の賛成をいただきました。さらに、このアンケートによる賛成は、紙袋による収集は総合的に良いことを実証するものと考え、紙袋収集にふみきった次第です。

市民の皆さんにご協力をお願いします。

<アンケートの結果>

モデル地区の178世帯について紙袋収集の賛否についてアンケートをとったところ、回答は138世帯(回収率77.5%)ありました。

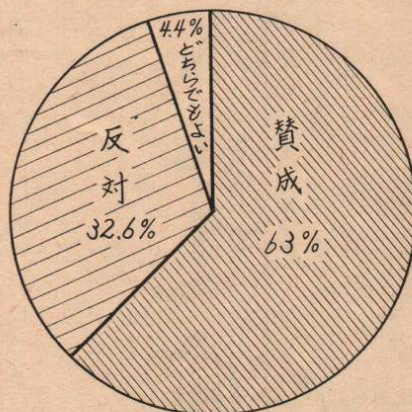
このうち、全面的に賛成する世帯が74世帯(53.6%)

難点はあるが一応賛成した世帯が13(9.4%)で結局、賛成世帯が87(63%)になっています。

つぎに、反対する世帯は、45世帯で回答世帯全体の32.6%を示しています。

また、どちらでも良いと答えたのは6世帯(4.4%)というアンケートの結果がでました。

紙袋方法賛否の構成図



<紙袋の価格等>

価格——1枚(30ℓ入) 13円

販売店——市内の米穀小売店

<紙袋によるごみの出し方>

- 1.ごみは紙袋に入れ、口をしぼって、定日、定刻までに集荷場所に出してください。
- 2.紙袋はお米の小売店で販売しています。
- 3.1回1袋で間に合わない時は、他の袋、ダンボール、木箱などに入れ、しぼって出してください。
- 4.その他の袋を利用する場合は、なるべく市指定の袋と同じ大きさのものを使ってください。
- 5.不燃物も必ずしぼって出してください。

市長と語る会 終わる

要望の41%は道路関係



- ⑨ごみ処理、町内の清掃 8件
- ⑩公民館の改築、社会教育活動 7件
- ⑪市民税や国保税 6件
- ⑫農道をはじめ農業後継者 5件
- ⑬工場誘致 2件
- ⑭林道の整備 2件
- ⑮その他、バス路線の新設、集会所および胃検診、墓地、公園、掲示板、町内会 12件

<各地区の

主要要望事項>

◎十二所地区

可搬式ポンプの備付、水道施設の完備、成案中の校地拡張、消防水利の整備、側道の整備、テレビ塔の建設、児童館の設置、社会教育の推進、企業の誘致、国保税、貯水槽の設置、路切りのつけ替えなど41件。

◎二井田地区

才川にかかる橋の補修、二井田小の移転、道路舗装、遠子森スキー場の維持管理、米代川の水質調査、私立保育園の拡張、ガードレール設置、各部落に掲示板が欲しいなど24件。

◎真中地区

公民館の新築、家畜公害、引欠川改修工事の促進、例

こう整備、児童遊園地、真中、大館線の補装、街灯の設置、全大館市の美化運動についてなど23件。

◎上川沿地区

上川沿小、中学校体育館の増築、上水道の延長・消防ポンプの更新、餌沢の溜池、下水処理、市のゴミ捨て場の移転、公民館予算の増額など24件。

◎下川沿地区

町内会の運営、税負担の公平、米代川の水質検査、山田路線の改善、農業の将来、簡易水道設置、ガードレールの設置、貯水槽の設置、児童館の設置など26件

次Pにつづく

市民の要望やご意見を素直に市政に反映させ、皆んなの力で住みよい大館市をつくらうと、今年も合併地区の皆さんを対象に「市長と語る会」を開きました。

7月20日、十二所地区を皮切りに開いたこの市長と語る会には、日中にもかかわらず、のべ300人の市民の方々が出席し、道路整備などの生活環境を良くするための要望など、たくさんの要望やご意見をいただきました。

市に対する要望事項を大ざっぱにまとめてみたところその件数は全部で226件もありました。

中でも一番多いのは、市道の舗装、砂利の散布、側道の整備など、建設課の所管に対する要望が多く、要望事項全体の41%となっております。しかし、昨年行なった際の建設関係への要望が60%であったのに比べこしは19%もへっており、これは、昨年開催した市長と語る会以後、各地区の要望を序々に解決してきたためと、考えられます。

要望件数を多いものに示すつぎのようになりますが、地区によっていろいろな問題点を含んでいるため各地区ごとの主要要望も記してみました。

<要望等の件数>

- ①道路、側道、橋、除雪などの要望 93件
- ②防火水槽、自動車ポンプ購入 18件
- ③小中学校の設備の充実、プールの建設 18件
- ④民生委員の増員、私立保育園への補助 14件
- ⑤家畜公害、地盤沈下、部落移転 12件
- ⑥簡易水道、飲料水の検査 11件
- ⑦市有財産の払い下げおよび管理面 9件